

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要		平成13年度～		根拠法令・例規等	
事業開始年度					
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	企画課
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり	
	小項目	施策	17	情報通信	
事務事業名	04	ネットワーク維持事業			係長 行正英仁
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	備前市情報ネットワーク(市内の行政施設や学校を接続した公共ネットワーク)を利用したサービスを受ける市民や、ネットワークを利用する児童、生徒(狭義的には市役所、学校等)	
目的 (何のために)	市情報ネットワークの安定稼働の堅持	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市情報ネットワークの安定稼働	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	ネットワーク維持業務	市情報ネットワークの安定稼働のため、通信機器の定期保守を行うとともに、本庁及び総合支所の配下の施設を結ぶ通信機器の更新を行った。	
	通信運搬 プロバイダ・フレックグループ	市情報ネットワークをインターネットに接続するため、プロバイダ契約を行った。また、公共施設にネットワークを構築するため、通信事業者の通信サービスを利用した。	
	光ファイバ保険	外来の事故によって市情報ネットワークの光ファイバに生じた損害に対応するため保険に加入した。	
	自設線保守業務(電子自治体推進協議会)	市情報ネットワークの光ファイバの支障移転や保守点検を行った。	
	光ファイバ電柱共架料等	市情報ネットワークの光ファイバを電力柱等に共架しているため、共架料の支払業務を行った。	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	千円	11,093	10,922	14,538	
	必要人員	人	0.07人	0.14人	0.30人	
	事業費	千円	11,711	12,097	16,956	
	国庫支出金	千円				
	受益者負担	千円	92	82	89	
繰入金	千円					
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	11,619	12,015	16,867		
受益者負担比率	%	0.8%	0.8%	0.7%		

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	ネットワーク異常停止件数	説明	市情報ネットワークの異常停止の発生件数		
	結果指標量		1	2	1
	対前年比	%	-	200.0%	50.0%
	活動コスト	円	11,711,000	12,097,000	16,956,000
単位当たりコスト		11,711,000	6,048,500	16,956,000	

事業の成果		Action				
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
トラブル発生回数	目標値(A)	0	0	0	0	
	実績値(B)	1	2	1	到達目標値	
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
情報ネットワークでのトラブル発生回数 (ネットワーク全体規模の異常停止回数。島ハブのような小さなトラブルは除く)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	目的達成度	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	市民参画度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	市情報ネットワークの安定稼働のための取組みを行う。 ネットワークの外部接続の安定稼働のため、経済性を勘案しながら冗長化を実施する。

総合評価		総合評価
ネットワークは、財務会計等、行政運営や学校運営に欠かせない基盤である。 基幹業務にも影響を及ぼすため、安定稼働の堅持は最優先されるべきものであり、日常的なメンテナンスやネットワークの冗長化等により対応していく。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A

平成26年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了					
取組目標	引き続き市情報ネットワークの安定稼働のための取組みを行う。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら